

山梨大学教職大学院 第31回教育実践フォーラム

「学校の働き方」を 問い直す

—教員の労働環境から考える改革のこれから—

日時 2025年10月25日(土) 13:30~16:30

会場 山梨大学 甲府西キャンパス N-11教室
対面方式 | 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

内容 基調講演およびパネリストの報告等

講師 **神林 寿幸**

明星大学教育学部 准教授

パネリスト **廣谷 貴明**

国立教育政策研究所教育政策・評価研究部 研究員

青木 栄一

東北大学大学院教育学研究科 教授

司会 **渡邊 志織** 山梨大学教職大学院 准教授

参加対象 山梨県内の学校・教育行政関係者
山梨大学教職大学院の修了生、在学生、
関係者及び本学域教員

お申込

↓下記のお申込フォームからお申し込みください



<https://forms.gle/j5Lp2Z9hTrHbHuyM7>

申込締切 **10月17日(金)**

お問い合わせ

山梨大学教育学域支援課
TEL.:055-220-8107 / E-mail:edu-ksk@yamanashi.ac.jp



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
地域の中核 世界の人材

【主催】山梨大学教職大学院（教育実践創成専攻）

【後援】山梨県教育委員会

山梨大学教職大学院
第31回教育実践フォーラム

「学校の働き方」を 問い直す

—教員の労働環境から考える改革のこれから—

2025年10月25日(土) 13:30~16:30

山梨大学 甲府西キャンパス N-11教室

「学校の働き方改革」という言葉が教育行政や学校でも用いられるようになってから、すでに数年が経過しました。この間、教員の労働時間が縮減されるなど、一定の成果が報告されています。

しかし一方で、教員の労働環境には依然として課題が残されており、実際に改革の効果を実感できていない教員も少なくありません。

そもそも、なぜ「学校の働き方改革」が必要なのでしょう。本講演では、この問いに立ち返り、これまで登壇者が参画してきた調査研究の成果を踏まえながら、日本の教員が置かれている労働環境や教員業務の内容を分析し、改革の意味を改めて考えていきます。

学校の働き方を見直すことは、単に教員の負担軽減のためだけではなく、持続可能な教育環境を守るためにも欠かせません。本講演が「学校の働き方改革」に新たな意味づけを与え、働き方の視点からこれからの学校教育の在り方を展望する契機となれば幸いです。